

NCNP 国立精神・神経医療研究センターの変遷

時代の要請に応えるため、常に変化を遂げてきたNCNP。

これからも、病院と研究所が一体となった国立高度専門医療研究センターとして、進化し続けていきます。

2021年
さらなる
未来へ…

2015年
国立研究開発法人化

2010年

独立行政法人
国立精神・神経医療
研究センター

国立精神・神経医療研究センター病院、同神経研究所、同精神保健研究所に改称。

1987年

国立国府台病院が国立精神・神経センターに加わる（2008年4月に国立国際医療センターに組織移管）。

1986年

国立精神・神経センター
(武蔵病院、神経研究所、精神保健研究所)

国立武蔵療養所、同神経センター、国立精神衛生研究所を統合。それぞれ国立精神・神経センター武蔵病院、同神経研究所、同精神保健研究所と改称される。その後、2008年に武蔵病院が国立精神・神経センター病院と改称される。

1978年

国立武蔵療養所神経センター
国立武蔵療養所の一機構として、国立武蔵療養所神経センターが発足する。

1952年

精神衛生法制定時（1950年）の国会附帯決議に基づき、千葉県市川市国府台に国立精神衛生研究所設置。

1945年

国立武蔵療養所
1945年12月、国立武蔵療養所に改称され、女性を含む一般国民が入所可能となり、国立の精神科病院として再出発する。

1940年

傷痍軍人武蔵療養所
傷病兵の中の精神疾患患者を収容する施設として現在の東京都小平市に開所される。

1938年

国府台陸軍病院が精神神経疾患対策のための特殊病院に指定される。戦後は国立国府台病院に改称。



2011年の国立精神・神経医療研究センター



2008年の国立精神・神経センター



国立武蔵療養所神経センター



創設時の国立精神衛生研究所



創設時の傷痍軍人武蔵療養所

組織図

2021年9月現在 ※2021年10月1日より病院・TMCが組織変更 参照：https://www.ncnp.go.jp/about/guide/organization.html

